

注3

大学番号：私026

[平成27年度設置]

計画の区分：学部^{注1}の学科の設置

注1

認可

福島学院大学 福祉学部 こども学科

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 福島学院
平成27年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 こども・保育学科事務室

職名・氏名 こども^{ガクカチョウ}学科長 ^{タナベ}田辺 ^{ミノル}稔
こども^{ホイクガクカジムシツチョウ}・保育学科事務室長 ^{ヒラツカ}平塚 ^{ミカコ}美香子

電話番号 024-553-3221

（夜間） 024-553-3320

F A X 024-553-3222

e-mail hoiku@fukushima-college.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成27年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 福島学院

(2) 大学名

福島学院大学

(3) 大学の位置

〒960-0181
福島県福島市宮代字乳児池1番地1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(カンノ ヒデタカ) 菅野英孝 (平成3年8月)		
学長	(タマイ ヒロシ) 玉井寛 (平成25年4月)		
学部長	(ホシノ ヨシヒコ) 星野仁彦 (平成26年4月)		
学科長	(タナベ ミノル) 田辺稔 (平成27年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)

平成27年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ 様式は, 平成24年度開設の4年制の学科の場合(平成27年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
福祉学部 こども学科 学士(こども学)	4年	40人	— 年次人	160人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平均入学定員超過率	開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率	備考
	平成27年度 春季入学	その他の学期			
A 入学定員	(40)	[—]	0.6 倍	— 倍	こども学科設置の趣旨と必要性の第1に掲げた認定こども園の保育教諭養成のための基幹となる教職課程認定が2月12日に通知となり、充分なPRが入試に間に合わない結果となった。28年度学生募集については現在全力をあげて取り組んでいる。
志願者数	(32)	(—)			
受験者数	(30)	(—)			
合格者数	(30)	(—)			
B 入学者数	(24)	(—)			
入学定員超過率 B/A	0.6				

- (注) ・ 数字は, 平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は, 完成年度を越えて報告書を提出する大学(「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学)のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度 平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] (-) 24	[-] (-) -	
2年次	/		
3年次	/		
4年次	/		
計	[-] (-) 24		

- (注)
- ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成27年度 入学者	24人	0人	平成27年度	0人	0人		0%
合計	24人	0人					0%

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)

・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。

・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(0人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<福祉学部 こども学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教育方針 表現力向上分野 情報教育分野 人間関係分野 教養教育科目 国際理解分野 体育分野	本学の教育	1前	2								兼2	オムニバス
	国語表現	1通	4								兼1	※演習
	会話演習	2前	1								兼2	
	情報機器操作Ⅰ（初級レベル）	1通		2							兼1	
	情報機器操作Ⅱ（中級レベル）	1・2通		2							兼1	
	情報機器操作ⅢA	3・4通		2							兼1	
	情報機器操作ⅢB	3・4通		2							兼1	
	生活教養	1通	4								兼1	※演習
	生活と安全	1後 1前		2							兼1	担当教員の時間割調整による開講時期変更（平成27年4月）
	音楽演習	1通		2							兼1	
	美術演習	1通		2		1						
	文学演習	1通		2							兼1	
	食彩演習	2前		1							兼1	
	日本国憲法	2後		2							兼1	
	女性と保健	1後		2							兼1	
	英会話Ⅰ（ベーシックレベル）	1通		2							兼1	担当非常勤講師一身上の都合による就任辞退のため変更（平成27年4月）
	英会話Ⅱ（アドバンスレベル）	1・2通		2							兼1	
	英書リーディング	2通		2							兼1	
	中国語会話Ⅰ	3通		2							兼1	
	中国語会話Ⅱ	4通		2							兼1	
国際理解論	1前	2								兼1		
体育講義	1前 1後		1					1			担当教員の時間割調整による開講時期変更（平成27年4月）	
体育実技Ⅰ	1通		1							兼3		
体育実技Ⅱ	2通		1							兼3		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	保育者論	1前	2								兼1	教職課程認定申請による担当教員変更(平成27年4月) 教職課程認定申請による担当教員変更(平成27年4月) 教職課程認定申請による担当教員変更(平成27年4月) 教職課程認定申請による担当教員変更(平成27年4月) オムニバス：教職課程認定申請による担当教員追加(平成27年4月) オムニバス：教職課程認定申請による担当教員変更(平成27年4月)
	教育原理	2前	2								兼1	
	保育原理	1前	2								兼1	
	社会的養護	1後	2								兼1	
	社会福祉	1前	2								兼1	
	地域福祉論	4前		2							兼1	
	相談援助	2前		1							兼1	
	児童家庭福祉	1後		2							兼1	
	教育行政	3前		2							兼1	
	教育心理学	2前	1			1						
	発達心理学	1通	4								兼1	
	臨床心理学	3前	2					1				
	心理査定法	3通		2							兼1	
	育児ストレス	3後		2							兼1	
	発達障害	4前		2							兼1	
	カウンセリング概論	3前		2							兼1	
	カウンセリング演習	3後		1							兼1	
	子どもの保健Ⅰ	1通	4			1						
	子どもの保健Ⅱ	2前・後		1							兼1	
	母子保健Ⅰ	4前		2							兼1	
	母子保健Ⅱ	4後		2							兼1	
	子どもの食と栄養	2通		2							兼1	
	食物アレルギー事例研究	4後		1							兼1	
	家庭支援論	2後		2							兼1	
	子育て支援政策	4後		2							兼1	
	保育・教育課程論	1後	2			1					兼2 兼4	
	保育内容総論	1通	2								兼1	
	保育内容指導法 健康	3通	2			1						
	保育内容指導法 人間関係	3通	2								兼1	
	保育内容指導法 環境	2通	2								兼1	
	保育内容指導法 言葉	2通	2								兼1	
	保育内容指導法 表現Ⅰ	2通	2					1				
	保育内容指導法 表現Ⅱ	3通		2							兼1	
	教育方法及び技術	3前		2							兼2 兼4	
	社会的養護内容	2前		1		1						
	保育相談支援	2後		1							兼1	
	乳児保育	2通		2				1				
	障害児保育	3通		2							兼1	
	幼児理解の理論と方法	3後		2		1						
	教育相談	3前		2				1				
保護者対応事例研究	4前		1							兼1		
保育・幼稚園教職実践演習	4後		2							兼1		
認定こども園基本実習	2通		1							兼1		
幼稚園教育実習	3後～4通		5							兼3		
保育実習指導Ⅰ	2～3通		2				1					
保育実習Ⅰ	3通		4				1					
保育実習指導Ⅱ	3後～4通		1				1					
保育実習Ⅱ	4前		2				1					
保育実習指導Ⅲ	3後～4通		1		1							
保育実習Ⅲ	4前		2		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	ピアノ演習（初級レベル）	1通		2							兼1		
	ピアノ演習（中級レベル）	1通		2		1							
	ピアノ演習（上級レベル）	1通		2		1							
	器楽演習	1通		2		1							
	国語	3後		2							兼1		
	算数	3後		2							兼1		
	音楽	1通	2			1							
	図画工作	1通	2			1							
	体育	2通	2						1				
	学童クラブ指導科目	学童保育	4前		2							兼1	
		学童保育実習	4通		1							兼1	
		教育内容指導法 国語	4前		2		1						
		教育内容指導法 算数	4前		2							兼1	
		教育内容指導法 音楽	4後		2		1						
		教育内容指導法 図画工作	4後		2							兼1	
		教育内容指導法 体育	4後		2							兼1	
	本学独自の科目	園芸	4通		2							兼1	
		創作ミュージカル	4通	2								兼1	
		パリタンスレスンとパリ島幼稚園交流	1・2通		2							兼1	
		特別研究Ⅰ	4前		1							兼1	
		特別研究Ⅱ	4後		1							兼1	
		ゼミナール	3～4通	4			3		2				

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
28	68	0	96	該当なし				
				[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
 ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \text{該当なし}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	福島学院大学短期大学部（必要面積 6,200㎡）と共用			
	校舎敷地	0㎡	25,665㎡	0㎡	25,665㎡				
	運動場用地	0㎡	6,423㎡	0㎡	6,423㎡				
	小 計	0㎡	32,088㎡	0㎡	32,088㎡				
	そ の 他	0㎡	12,553㎡	0㎡	12,553㎡				
	合 計	0㎡	44,641㎡	0㎡	44,641㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	福島学院大学短期大学部（必要面積 5,900㎡）と共用				
	(374㎡)	(18,369㎡)	(4,166㎡)	(22,909㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	19室	18室	37室	4室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	福祉学部こども学科			12 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	福祉学部 短期大学部保育科と 共用 図書 82,461冊 うち外国書[5,658冊]	
	福祉学部 こども学科	11,857 [665] (11,560 [466])	44 [12] (40 [10])	10 [7] (10 [8])	4,500 (4,711)	3,634 (3,634)	0 0		
	計	11,857 [665] (11,560 [466])	44 [12] (40 [10])	10 [7] (10 [8])	4,500 (4,711)	3,634 (3,634)	0 0		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		福島学院大学と 短期大学部と共用		
	2,003㎡		178		100,000				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	1,018㎡		スポーツルーム		-				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	共同研究費等は福祉学部こども学科のみ。なお、共同研究費については外部資金の獲得を奨励する。
		教員1人当たり研究費等	教授400千円 准教授350千円 講師300千円	教授400千円 准教授350千円 講師300千円	図書購入費	-	1,000千円	1,000千円	
	共同研究費等	1,000千円	1,000千円	設備購入費	-	1,000千円	1,000千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	1,230千円	980千円	980千円	980千円	-	-			
学生納付金以外の維持方法の概要		資産運用収入等							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	福島学院大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
心理学研究科	年	人	年次人	人		倍			
臨床心理学専攻	2	7	-	14	修士 (臨床心理学)	1.00	平成19年度	福島県福島市本町2番10号	
こども心理専攻	2	7	-	14	修士 (こども心理)	0.92	平成25年度	同上	
福祉学部									福祉心理学科入学定員 平成24年度 80名 平成25年度 80名 平成26年度 80名 平成27年度 70名 ※原発事故の影響により 平成24年度から入学生減少
福祉心理学科	4	70	-	310	学士 (福祉心理学)	0.67	平成15年度	同上	
こども学科	4	40	-	160	学士 (こども学)	0.60	平成27年度	福島県福島市宮代字乳児池1番地1	
大学の名称	福島学院大学短期大学部								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
保育科第一部	2	170	-	370	短期大学士 (保育学)	0.71	昭和41年度	福島県福島市宮代字乳児池1番地1	保育科第一部入学定員 平成26年度 200名 平成27年度 170名 ※原発事故の影響により 入学生減少
保育科第二部	3	50	-	150	短期大学士 (保育学)	0.45	昭和46年度	同上	保育科第二部 平成28年度入学生募集停止
食物栄養科	2	50	-	100	短期大学士 (食物栄養学)	0.80	昭和43年度	同上	
情報ビジネス科	2	40	-	100	短期大学士 (情報ビジネス学)	0.65	昭和60年度	福島県福島市本町2番10号	情報ビジネス科入学定員 平成26年度 60名 平成27年度 40名 ※原発事故の影響により 入学生が減少したが、今年度は入学生増加 (入学定員比0.90)

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<福祉学部 こども学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授(学科長)	田邊 稔(61)	平成27年4月	教育心理学 幼児理解の理論と方法 ゼミナール						
専	教授	板垣 健太郎(66)	平成28年4月	社会的養護内容 保育実習指導Ⅲ 保育実習Ⅲ ゼミナール						
専	教授	Michal Bogdan Sobkowiak(42)	平成27年4月	ピアノ演習(中級レベル) ピアノ演習(上級レベル)						
専	教授	古畑 雅規(46)	平成27年4月	美術演習 図画工作						
専	教授	佐藤 理(68)	平成27年4月	子どもの保健Ⅰ 保育内容指導法 健康						
専	教授	伊藤 俊彦(71)	平成27年4月	器楽演習 音楽 教育内容指導法 音楽 ゼミナール						
専	教授	渡辺 博志(67)	平成27年4月	保育・教育課程論 教育内容指導法 国語	専	教授	渡辺 博志(67)	平成27年4月	保育・教育課程論 教育内容指導法 国語	教職課程認定申請による変更 (保育・教育課程論をオムニバスで担当)
					兼任	講師	磯部 裕子(54)	平成27年4月	保育・教育課程論	教職課程認定申請による担当教員の追加 (保育・教育課程論をオムニバスで担当)
専	講師	鈴木 美樹(渡邊)(51)	平成28年4月	保育内容指導法 表現Ⅰ ゼミナール						
専	講師	藤村 透子(42)	平成27年4月	体育講義 体育						
専	講師	佐藤 佑貴(40)	平成29年4月	臨床心理学 教育相談						
専	講師	今 清孝(53)	平成28年4月	保育実習指導Ⅰ 保育実習Ⅰ 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅱ ゼミナール						
専	講師	横畑 泰希(52)	平成29年4月	乳児保育						
兼任	講師	横畑 泰希(51)	平成28年4月	乳児保育						
兼任	教授	三浦 尚之(73)	平成27年4月	本学の教育 音楽演習						
兼任	非常勤講師	三浦 尚之(75)	平成29年4月	本学の教育 音楽演習						
兼任	教授	星野 仁彦(70)	平成30年4月	発達障害						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	内藤 哲雄 (69)	平成29年4月	心理査定法						
兼任	教授	西村 學 (68)	平成27年4月	発達心理学 障害児保育						
兼任	非常勤講師	西村 學 (71)	平成30年4月	発達心理学 障害児保育						
兼任	教授	織田 正昭 (66)	平成27年4月	女性と保健 育児ストレス 母子保健Ⅰ 母子保健Ⅱ						
兼任	准教授	黒津 康司 (64)	平成27年4月	生活と安全						
兼任	講師	桃井 真帆 (48)	平成29年4月	カウンセリング概論 カウンセリング演習			後任未定		カウンセリング概論 カウンセリング演習	兼任教員桃井真帆 私事都合により退職 (平成27年3月)
兼任	講師	日下 輝美 (52)	平成27年4月	社会福祉 地域福祉論						
兼任	講師	加藤 とよ (67)	平成27年4月	社会的養護 保育相談支援 保護者対応事例研究						
兼任	講師	田上 貞一郎 (66)	平成27年4月	国語表現 保育内容指導法 言葉 国語						
兼任	講師	宮前 貢 (73)	平成27年4月	保育者論 保育・幼稚園教職実践演習 幼稚園教育実習	兼任	講師	宮前 貢 (73)	平成27年4月	保育・幼稚園教職実践演習 幼稚園教育実習	教職課程認定申請に よる担当科目(保育者 論)の変更
					兼任	講師	長島 輝子 (62)	平成27年4月	保育者論	教職課程認定申請に よる担当教員の変更
兼任	講師	佐藤 敦子 (59)	平成27年4月	創作ミュージカル バリダンスレッスンとバリ島 幼稚園交流						
兼任	講師	酒井 創 (54)	平成27年4月	情報機器操作Ⅰ(初級レベル) 情報機器操作Ⅱ(中級レベル)						
兼任	講師	渡辺 雅子 (52)	平成27年4月	生活教養						
兼任	講師	水野谷 龍之 (70)	平成27年4月	英会話Ⅱ(アドバンスレベル) 英書リーディング						
兼任	講師	呂 学如 (66)	平成29年4月	中国語会話Ⅰ 中国語会話Ⅱ						
兼任	講師	藤本 要 (53)	平成27年4月	体育実技Ⅰ 体育実技Ⅱ						
兼任	講師	鈴木 礼子 (67)	平成28年4月	子どもの食と栄養						
兼任	講師	杉浦 広幸 (52)	平成28年4月	保育内容指導法 環境 園芸						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	石田 敏和(67)	平成30年4月	教育内容指導法 図画工作						
兼任	講師	木村 信綱(38)	平成29年4月	情報機器操作ⅢA 情報機器操作ⅢB						
兼任	講師	島田 貴広(46)	平成27年4月	体育実技Ⅰ 体育実技Ⅱ 教育内容指導法 体育						
兼任	講師	高橋 雄二(57)	平成28年4月	相談援助						
兼任	講師	芝田 郁子(59)	平成28年4月	子どもの保健Ⅱ						
兼任	講師	中村 啓子(70)	平成30年4月	食物アレルギー事例研究						
兼任	講師	鈴木 智子(52)	平成27年4月	保育内容総論 保育内容指導法 人間関係						
兼任	講師	長島 輝子(64)	平成29年4月	幼稚園教育実習						
兼任	講師	菅田 清正(60)	平成30年4月	特別研究Ⅱ						
兼任	助教	長久保 和子(39)	平成28年4月	認定こども園基本実習 幼稚園教育実習	兼任	講師	長久保 和子(38)	平成28年4月	認定こども園基本実習 幼稚園教育実習	助教から講師へ昇格
兼任	講師	遠藤 貞子(64)	平成27年4月	本学の教育						
兼任	講師	荒川 守(66)	平成28年4月	会話演習						
兼任	講師	藤間 久子(59)	平成28年4月	会話演習						
兼任	講師	菅野 俊之(67)	平成27年4月	文学演習						
兼任	講師	橋本 ヨシイ(63)	平成28年4月	食彩演習 特別研究Ⅰ						
兼任	講師	新村 繁文(65)	平成28年4月	日本国憲法						
兼任	講師	渡邊 真由美(44)	平成27年4月	英会話Ⅰ(ベーシックレベル)	兼任	講師	Ronald Brent Scott(54)	平成27年4月	英会話Ⅰ(ベーシックレベル)	担当非常勤講師一身上の都合による就任辞退のため変更(平成27年4月)
兼任	講師	中里 明彦(70)	平成27年4月	国際理解論						
兼任	講師	石山 波恵(55)	平成27年4月	体育実技Ⅰ 体育実技Ⅱ						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	遠藤 盛男(72)	平成28年4月	教育原理	兼任	講師	渡邊 誠一(67)	平成28年4月	教育原理	教職課程認定申請による担当教員の変更
兼任	講師	井上 秀之(70)	平成27年4月	児童家庭福祉						
兼任	講師	丹野 学(63)	平成29年4月	教育行政 算数 教育内容指導法 算数	兼任	講師	丹野 学(61)	平成29年4月	算数 教育内容指導法 算数	教職課程認定申請による担当科目(教育行政)の変更
					兼任	講師	阿内 春生(32)	平成29年4月	教育行政	教職課程認定申請による担当教員の変更
兼任	講師	伊藤 俊明(69)	平成28年4月	家庭支援論						
兼任	講師	桜田 葉子(60)	平成30年4月	子育て支援政策						
兼任	講師	鈴木 裕美子(65)	平成29年4月	保育内容指導法 表現Ⅱ						
兼任	講師	中村 勝一(41)	平成29年4月	教育方法及び技術	兼任	講師	宮前 貢(73)	平成27年4月	教育方法及び技術	教職課程認定申請による担当教員の変更(教育方法及び技術をオムニバスで担当)
					兼任	講師	清水 英典(64)	平成29年4月	教育方法及び技術	教職課程認定申請による担当教員の変更(教育方法及び技術をオムニバスで担当)
兼任	講師	浅野 洋子(61)	平成27年4月	ピアノ演習(初級レベル)						
兼任	講師	江川 由美子(48)	平成30年4月	学童保育 学童保育実習						
兼任	講師	佐藤 菊子(67)	平成27年4月	保育原理						

- (注)・申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成		年齢構成(前年度の状況)	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
7	0	5	0	12	該当なし					75	0	—	—
(6)	(0)	(1)	(0)	(7)	[]	[]	[]	[]	[]	歳	名	歳	名

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)
 ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「—」を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	該当なし		
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成26年10月認可) (平成27年4月開設)	「該当なし」		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<福祉学部 こども学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
	該当なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で, 設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し, それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ①FD委員会 (添付資料: 福島学院大学学則)
- ②学科授業改善委員会 (添付資料: 学生受講規程)
- ③学科評議員会 (添付資料: 学科評議員会設置及び委員委嘱に関する規程) ※完成年度以降に実施

b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む)

- ①FD委員会 開催状況 → 5月・12月開催予定
- ②学科授業改善委員会 開催状況 → 6月・11月開催予定

c 委員会の審議事項等

- ①FD委員会
FD実施方針・実施項目の設定、実施計画の策定、実施後の分析、報告内容の全学的観点からの点検等
- ②学科授業改善委員会
学生からの授業改善提言

② 実施状況

a 実施内容 (予定)

- ①FD委員会
 - ・FD実施方針
 - ・実施項目の設定
- ②学科授業改善委員会
 - ・学生からの授業改善提言について

b 実施方法

- ①FD委員会
FD委員会は、委員長(学長)が召集し、開催する。
- ②学科授業改善委員会
学科授業改善委員会は、委員長(学科長)が召集し、開催する。

c 開催状況 (教員の参加状況含む)

- ①FD委員会 5月・12月開催予定
- ②学科授業改善委員会 6月・11月開催予定

- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
実施結果を授業内容方法の改善に向けてより充実させていきたい。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

- a 実施の有無及び実施時期
実 施：有
実施時期：前期科目は7月中、後期及び通年科目は1月下旬～2月上旬予定
- b 教員や学生への公開状況，方法等
自己点検・評価報告書として本学ホームページ上に公表予定

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

福祉学部こども学科では、設置の趣旨・目的に教育・福祉両面に渡る発達支援、子育て支援を担う人材育成を掲げ、平成27年4月に初学年となる学生を迎え1ヵ月が過ぎたところである。「子ども大好き」との思いを強くして入学してきた学生に、「真心こそすべてのすべて」を基調とする建学の精神や、人間として求められる教養、人間関係及び保育現場でも必須の情報などを学びながら、子どもの発達や「子どもの保健Ⅰ」、「音楽」、「ピアノ演習」などの学びを進めている。また「保育者論」、「保育内容総論」にかかる学びを通して、保育者の仕事がかげがえのないものであることや難しさを学び、4年間の本学における学びの具体的目標を捉えることができるよう現在取り組んでおり、各段階の到達目標は計画通りに進んでいる。

② 自己点検・評価報告書

- a 公表(予定)時期
・平成28年7月公表予定
- b 公表方法
自己点検・評価報告書として本学ホームページ上に公表予定

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成29年度に評価機関(公益財団法人日本高等教育評価機構)の評価を受審する。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (平成27年 6月)